



## 「地質の日」のイベントが全国の博物館等で開催

—5月10日地質の日 第16回事業の紹介—

令和5年4月28日

一般社団法人日本地質学会

発表形態：資料送付

発表先：文部科学省記者会，科学新聞社

解禁日時：資料配布と同時

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

一般社団法人日本地質学会（以下、日本地質学会）が主要加盟団体として参画する「地質の日」事業推進委員会\*1は、5月10日の「地質の日」を記念して、特別イベントを開催いたします。

### ■ポイント■

- ・ 5月10日の「地質の日」を記念して、全国の自然史系博物館等で多数の記念イベントが開催予定。
- ・ 今年も地質を自宅で楽しみながら学べる、博物館や関連機関で作成されたデジタルコンテンツ（動画、よみもの、クイズ、パズルなど）へのリンクをまとめたウェブサイトを開設。
- ・ 一般市民の方々が“地”球の性“質”（地質）を知るための絶好の機会。

### ■概要■

日本地質学会が主要加盟団体として参画する「地質の日」事業推進委員会\*1は、全国の博物館等を拠点に行なわれる5月10日「地質の日」の第16回記念事業を推進しています。

地球生命史、地球環境、自然災害を理解するうえで重要な地質について、より身近に知っていただくために、2007年に地質関連学会・機関が発起人\*2となり、5月10日を「地質の日」と決めました。そして、これを記念して、毎年5月10日前後に全国の自然史系博物館などで多数の記念イベントが開催されており、「地質の日」事業推進委員会\*1は、これらの記念事業を推進しています。本年は4月24日現在で30を超えるイベントが予定されています。

また、「地質の日」事業推進委員会\*1では本年も、経済産業省本館ロビーにおける特別展示、そして、2020年に開設したウェブサイト「あつまれ！地質を楽しむデジタルコンテンツ」の運用を行います。ウェブサイトは、博物館や関連機関で作成されたデジタルコンテンツ（動画、よみもの、クイズ、パズルなど）へのリンクを集めたポータルサイトで、自宅にいながら地質を楽しみながら学ぶことができます。ウェブサイトは国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）におかれております。URLは以下のとおりです。

地質の日トップページ:<https://www.gsj.jp/geologyday/>

あつまれ！地質を楽しむデジタルコンテンツ:<https://www.gsj.jp/geologyday/homestudy.html>

■ 「地質の日」事業全般の問い合わせ先 ■

地質の日事業推進委員会事務局（産総研地質調査総合センター）担当：宍倉、金子、長江  
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

[TEL:029-861-3540](tel:029-861-3540) FAX:029-856-4989 E-mail :geologyday-jimu-ml@aist.go.jp

資料 1)地質の日ポスター(地質の日 WEB サイトからダウンロード可。再配布自由。)

資料 2)予定されている記念イベントの一覧(4月24日現在)

\*1 「地質の日」事業推進委員会: 日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本第四紀学会、産業技術総合研究所地質調査総合センター、北海道立総合研究機構地質研究所、全国科学博物館協議会、国立科学博物館、日本科学未来館、神奈川県立生命の星・地球博物館、全国地質調査業協会連合会、東京地学協会、日本鉱物科学会、日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科（順不同、2023年4月現在）

\*2 発起人:日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産業技術総合研究所地質調査総合センター、(独)北海道立総合研究機構地質研究所、神奈川県立 生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構（順不同）

《備考》

■ 地質とは ■

私たちの住んでいる大地は、地層、岩石、土壌などでできています。これらの物質やその性質のことを「地質」と呼びます。人間に例えれば、地球の表面を覆っている服(植生)をめくった体そのものと考えて良いと思います。

地質は、エネルギーやさまざまな材料の素となる鉱産資源や温泉のような豊かな恵みをもたらします。また、地質を知ることによって、構造物の基礎や地下施設の安全な設計をすることができます。

さらに、地質を理解することは、地震、火山噴火、斜面崩壊などの発生メカニズムを理解したり、災害を予測したり、被害の低減を図る上でも、大変重要です。

## ■ 地質の日制定の社会的背景 ■

現在、地質への一般の関心は残念ながら高いとは言えません。専門とする教員がいないために地質を十分に学ぶことのできない高校が多くあります。小学校・中学校でも、教員が地質をあまり学んでいないために教えることさえまならなくなっていると言われていています。しかし、私たち人間が地球上で、安全安心で豊かな生活をしていくためには、足下の身近な地質について知っておくことが必要です。地質の日事業推進委員会を初めとして、地質に携わる者は、一般の人々に身近な地質について興味を持って頂き、地質への理解が深まることを期待しています。

## ■ 地質の日制定の経緯 ■

「地質」の記念日を作ろうという動きは 2000 年頃から当時の通産省地質調査所でありました(地質ニュース 547 号など)。その後、しばらく動きが途絶えていましたが、2006 年 8 月に茨城大学理学部の天野一男教授が「地質の日」制定の提案を学会の広報誌(地質学会 News、2006、8 月号)に寄稿したことを契機に、再び「地質の日」制定の気運が高まり、2007 年 3 月 13 日に地質に関係した学会・機関\*2 が発起人となって「地質の日」を決めました。

## ■ 地質の日の由来 ■

“お雇い外国人”地質学者ライマン(米国)らによって、明治 9 年(1876) 5 月 10 日に日本初の広域的な地質図「日本蝦夷地質要略之図」が刊行されたことにちなみます。明治 11 年(1878 年)には、イギリスから招聘されたゴッドフレーにより「日本地質略図」が発表されており、明治の初期にわずか数年で、日本全国の地質図を作成したことは驚くべき成果です。なお、明治 11 年(1878) 5 月 10 日には、初めて地質の調査が国の事業の中に位置づけられたということもあり、地質には縁の深い日です。

## ■ 地質の日事業の内容 ■

「地質の日」前後には、各地域の博物館等を中心として、地質図、化石、鉱物、地震、火山等をテーマにした展示やイベントを始めとして、記念出版物の刊行、各地のジオパークや博物館で地質に関連した野外見学会やツアーなどの記念事業が開催されます。これを機会に、地質について地域の人々の理解が深まることが期待されます。また、昨年新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、自宅で楽しめるよう開設したデジタルコンテンツの地質の日特設ポータルサイトは、コンテンツを拡充しつつ引き続き公開しています。



5月10日は  
**地質の日**



# 5月10日を中心に全国でイベント開催

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
TEL : 029-861-3540 E-mail : geologyday-jimu-ml@aist.go.jp  
Web : <https://www.gsj.jp/geologyday/>

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、(一社)日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、(国研)産業技術総合研究所、日本科学未来館、(地独)道総研エネルギー・環境・地質研究所、(公社)東京地学協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO 法人)日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 (順不同：2023年2月現在)

撮影地：千葉県屏風ヶ浦 題字：高橋須葉

## 資料 2) イベント一覧

地域	主催	期間	時間	イベント名
北海道	三笠市立博物館・三笠市立博物館ボランティアの会	2月4(土)～5月7日(日)※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:00～17:00	三笠市立博物館・三笠市立博物館ボランティアの会 共催企画展『北海道のアンモナイト ～コニアシアン編～』
	三笠市立博物館	4月29(土)～5月7日(日)※月曜日休館	9:00～17:00	ゴールデンウィークイベント 化石博士になろう！2023GW
東北	岩手県立博物館	3月25日(土)～5月7日(日)※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:00～17:00	テーマ展「新収蔵・新指定展 II 自然編」
		4月23日(日)	13:30～15:00	生命史をひも解く - 白亜紀(後編) -
		5月14日(日)	13:00～14:30	たいけん教室「アンモナイトの消しゴムづくり」
関東	経済産業省	5月1日(月)～5月26日(金)	本館開館時間中	いま知りたい海洋地質図の世界
	産業技術総合研究所 地質標本館	4月25日(火)～9月3日(日)※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:30～16:30	特別展「地中熱～あなたの足元に再生可能エネルギー～」
		5月6日(土)	14:00～15:00	地質の日イベント「LIVE中継！大西洋でマントルを掘る。」
	ジオパーク下仁田協議会	5月13日(土)	10:00～12:00	ジオツアー『なんと17種類の石が！川原の石の観察とまちなかを巡る』
	佐野市葛生化石館	5月14日(日)	10:00～15:00	地質の日関連イベント「化石とあそぼう」
	千葉県立中央博物館	5月4日(木・祝)	10:00～16:00	体験イベント 石を割ってみよう
		5月20日(土)	12:00～15:00	地学観察会 東京湾で貝殻と貝の化石をさがそう
		5月21日(日)	10:00～16:00	地質の日関連観察会 勝浦鵜原の黒滝不整合
	相模原市立博物館	4月29日(土・祝)～6月25日(日)※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:30～17:00	企画展「石のスタンドグラス2～偏光顕微鏡の世界～」
		6月11日(日)	10:00～16:00	石を顕微鏡で見よう
	三浦半島活断層調査会	6月4日(日)	10:00～15:00	観察会「観音崎の地層と関東大震災の傷跡をたどる」
	日本地質学会	5月13日(土)	9:30～12:05	「地質の日」オンライン普及講演会 「日本列島の地質探訪ー古生代から新生代まで」
		5月16日(火)～5月28日(日) 東京パークスギャラリー※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:00～18:00	惑星地球フォトコンテスト第14回ほか入選作品展示会
日本地質学会／日本応用地質学会／神奈川県立生命の星・地球博物館	5月14日(日)	9:00～16:00	街中ジオ散歩in Yokohama「身近な地形・地質から探る横浜の歴史」	
中部	蒲郡市生命の海科学館	5月13日(土)	19:00～20:30	蒲郡市生命の海科学館 オンライン講演会「未知の火山の暴き方 ～崖から噴火を考える～」
	中津川市鉱物博物館	3月18日(土)～6月4日(日)※毎週月曜日休館(月曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:30～17:00	第28回企画展「長島鉱物コレクション展ー蛭川郷土館標本受入20年」
		5月5日(金・祝)	13:30～14:30	石割体験
近畿	地学団体研究会大阪支部／日本地質学会近畿支部／大阪市立自然史博物館	5月14日(日)	14:00～16:00	第40回地球科学講演会「日本海拡大時の日本列島の変動ー地質と古地磁気の研究からどこまでわかっているかー」

資料 2) イベント一覧

中国・四国	防府市青少年科学館「ソラール」	5月7日(日)	13:00～15:00	アンモナイトのレプリカを作ろう
	愛媛大学理工学研究科地球進化学コース院生会/日本地質学会四国支部ほか	5月13日(土)	13:00～16:30	化石発掘体験～化石レプリカを見つけてみよう！～
九州・沖縄	九州大学総合研究博物館	5月13日(土)	10:00～16:00	プロフェッサー前田の地質の日記念化石講座
	福岡市科学館（特別協力：福岡石の会）	5月13日(土)～5月21日(日)※毎週火曜日休館(火曜日が休日の場合は翌平日休館)	9:30～21:30	はっけん！福岡のすごい石展 福岡市西区長垂の天然記念物リチウム鉱物
	福岡石の会（特別協力：福岡市科学館）	5月13日(土)	13:00～15:20	もっと！もっと！！鉱物！！ 石とふれあう広場 「ONE DAY博物館」 記念講演会
		5月14日(日)	10:30～15:00	もっと！もっと！！鉱物！！ 石とふれあう広場 「ONE DAY博物館」 体験ワークショップ
	佐賀県立宇宙科学館	5月14日(日)	①11:00～12:00 ②15:00～16:00	ジオ・フェスティバル
	NPO法人霧島ジオパーク友の会（主催）/霧島ジオパーク推進連絡協議会（共催）	5月7日(日)	9:30～16:00	山ヶ野金山めぐりと砂金さがしツアー
	宮崎県総合博物館	5月14日(日)	13:30～15:30	めざせ、恐竜ハカセ！～いつの時代も「歯」は命～
	「地質の日」くまもと実行委員会/日本地質学会西日本支部ほか	5月21日(日)	10:00～16:00	第15回「地質の日」企画 身近に知る「くまもとの大地」